



Feature Manager

- [Feature Manager](#) (1 ページ)

Feature Manager

Cisco DCNM リリース 11.x では、DCNM のインストール時にインストール モードを選択する必要があります。リリース 12.0.1a 以降、Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラでは Nexus Dashboard にサービスをインストールできます。Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ UI を起動すると、[機能管理 (Feature Management)] ページに 3 つの異なるインストールモードが表示されます。

Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ 12 では、機能セットを動的に有効にし、アプリケーションを拡張できます。[設定 (Settings)] > [機能管理 (Feature Management)] の順に選択して、インストーラタイプを選択し、選択した展開でいくつかの機能を有効または無効にします。

Cisco Nexus Dashboard から Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ を初めて起動すると、[機能管理 (Feature Management)] 画面が表示されます。機能セットを選択する前に、バックアップと復元の操作のみを実行できます。

[機能管理 (Feature Management)] ページで、次のインストール モードのいずれかを選択できます。

- ファブリック 検出
- ファブリック コントローラ
- SAN コントローラ

機能セットを選択した後、Nexus Dashboard から Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ を起動すると、次のログインから Dashboard ページが開きます。

フィーチャ セットの選択

Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ 12 を初めて起動すると、どのフィーチャセットも有効になりません。この状態で、バックアップと復元を実行して、DCNM 11.5(x)

データをNexusダッシュボードファブリックコントローラ 12に復元できます。Nexusダッシュボードファブリックコントローラはバックアップファイルからデータを読み取り、それに応じてインストーラタイプを選択します。

Cisco Nexusダッシュボードファブリックコントローラ Web UI からフィーチャセットを展開するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] > [機能管理 (Feature Management)] を選択します。

ステップ 2 ペルソナを選択して、デフォルトの機能セットを表示します。

Cisco NDFC ペルソナで使用できる機能については、「[各ペルソナの機能 \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

ステップ 3 次の表で、機能セットで使用可能な機能名に対してチェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [Apply] をクリックします。

フィーチャセットが展開されます。選択したアプリケーションが有効になります。フィーチャセットがインストールされていることを示すメッセージが表示されます。有効にするには更新する必要があります。

ステップ 5 ブラウザを更新して、選択したフィーチャセットとアプリケーションでNexusダッシュボードファブリックコントローラを展開します。

左側のペインには、展開されたフィーチャセットで特にサポートされている機能が表示されます。

各ペルソナの機能

次の表に、Cisco NDFC リリース 12.1.1e で使用可能な機能に関する情報を示します。

表 1: SAN コントローラペルソナで利用可能な機能

機能名	説明
パフォーマンス モニタリング	環境とインターフェースの統計をモニタリングする
SAN Insights	SAN 分析の可視化
VMM ビジュアライザ	仮想マシンのネットワーク可視化

機能セット全体での変更

Nexusダッシュボードファブリックコントローラ 12では、ある機能セットから別の機能セットに切り替えることができます。[設定 (Settings)] > [機能管理 (Feature Management)] を選

択します。次の表で、目的の機能セットとアプリケーションを選択します。[保存して続行 (Save and Continue)] をクリックします。ブラウザを更新して、新しい機能セットとアプリケーションでシスコ Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ の使用を開始します。

特定の展開でサポートされる機能/アプリケーションがいくつかあります。機能セットを変更すると、これらの機能の一部は新しい展開でサポートされません。次の表に、機能セットを変更できる前提条件と基準の詳細を示します。

表 2: 展開間でサポートされるスイッチング

送信元/宛先	ファブリック検出	ファブリック コントローラ	SAN コントローラ
ファブリック検出	-	ファブリック検出の展開では、モニタモードファブリックのみがサポートされます。機能セットを変更すると、ファブリック コントローラ 導入でファブリックを使用できません。	サポート対象外
ファブリック コントローラ	ファブリックセットを変更する前に、既存のファブリックを削除する必要があります。	Easy Fabric から IPFM ファブリック アプリケーションに変更する場合は、既存のファブリックを削除する必要があります。	サポート対象外
SAN コントローラ	サポート対象外	サポート対象外	-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。